

## ガソリンの取扱いについての注意

### ポイント

- ガソリンは、安全な容器（金属製携行缶）で持ち運び
- 容器から自動車に給油するときには、慎重に
- ガソリンと灯油を間違わないように

### ◎ ガソリンは、安全な容器（金属製携行缶）で持ち運び

一部報道において、灯油用ポリタンクによる自動車へのガソリン給油が行われているニュースが報じられました。ガソリンを灯油用ポリタンクに小分けして持ち運ぶことは、次の点で非常に危険ですので行わないでください。

- ① 耐ガソリン性が悪く容器が溶けるおそれがある。
- ② 静電気がたまりやすく火花放電により着火する可能性がある。
- ③ 気密性が低くガソリン蒸気が漏えいしやすい。
- ④ ガソリン蒸気は空気より重いため低所にたまり引火しやすい。
- ⑤ 灯油や水タンクと間違えやすい。



ポリタンク

金属製容器

◎ 容器から自動車に給油するときには、慎重に

小分け容器で自動車にガソリン給油する場合には、次の点に注意してください。

- ① 風通しがよく、部外者の出入りがなく、不要な可燃物のない場所で行ってください。
- ② 周りに火気がないことを確認してから行ってください。
- ③ 軍手は使わずに素手または皮手袋を使用してください。
- ④ 服や靴にガソリンがかかったら良く洗ってください。
- ⑤ 電池式の灯油用ポンプは使わないでください。
- ⑥ ポリタンクからの給油（本来禁止されています）の場合は静電気の危険性があるので金属ロートは使わないで下さい。やむをえず使う場合は接地（アース）してください。

◎ ガソリンと灯油を間違わないように

ストーブへの灯油給油の際はガソリンでないことを確認してください。

（灯油は無色、ガソリンはオレンジ色に着色されています）

謝辞

灯油用ポリタンクによる自動車へのガソリン給油の危険性を指摘し注意喚起する情報がYahoo 掲示板等の地震対応掲示板で流されています。地震被災地域での事故発生防止にご協力いただくことに深く感謝いたします。

お問い合わせ先  
消防研究所 研究企画部  
電 話 0422-44-8331（代表）